

飲食店で余った料理や食材などを安く購入できる「フードシェアリング」のサービスが広がっている。入手できるのは「賞味期限が近い」「作りすぎた」などの理由で、販売を急ぐ必要がある食品。割安に食事を楽しみたい、食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」を減らせる。

知っとく トク

SHIFFT（東京・豊島）が運営する「Reduce GO」。東京都内で139の飲食店が加盟し、その日に予約のキャンセルが出た料理などを出品する。利用者はスマートフォン（スマホ）のアプリで一覧を見て注文し、店に取りに行く。月額1980円（税別）を支払って登録すると1日2回まで無料で料理や食品を手取できる。上村宗輔取締役によると、出品は各店がその日の売り上げの見通しを立

余った料理 フードシェア

安く買って食品ロス減

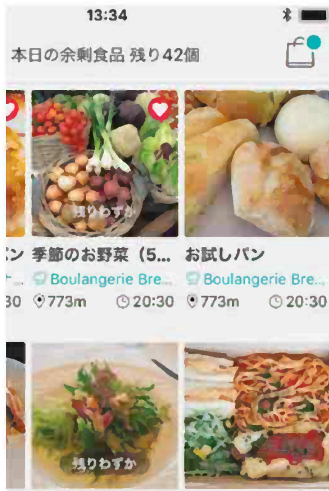
てる午後3〜8時ごろが多く、月額料金なので毎日使うほどお得だ。

関西圏ではREARSS（大阪市）の「FOOD PASSPORT」がサービスを展開。こちらは1日1品まで。料理と別にワンドリンクの注文が必要で店内飲食が基本だ。代表取締役の後藤靖佳さんは「20〜30代の男性が、仕事帰りの一杯を楽しむ店を探す場面での利用を想定している」。コックキング（東京・港）が運営する「TABETE」はウェブサイトで欲しい商品を選んでクレジットカードで支払い、各店舗で受け取る。1回に何個でも購入で

き、月に約3千食が掲載されているという。

ネット通販サイトもある。グラウクス（同・品川）の「KURADASHI.jp」の「KURADASHI.jp」は賞味期限が近い食品に加えサブプライメントや売れ残り・規格外の雑貨など常時200品以上を扱う。価格は平均7割引きという。送料は1回ずつ540円か、定額で月額540円を選べる。「リング5キ」など量が多いことも特徴で、同社は「出品しやすいさを重視した。オフィスや近所などでシェアしてほしい」とする。

2015年度の農林水産省の推計では食品ロスは646万ト。各社ともロス削減への貢献を目指しているが、始まったばかりのサービスも多く、近所に加盟店があるかどうか確認して使う必要がある。（鈴木卓郎）



画面の例（SHIFFT提供）

フードシェアのサービスは広がっている			
サービス名	料金	利用場所	加盟店舗
TABETE	購入ごとに支払い	持ち帰り	東京中心に263
Reduce GO	月額1980円	持ち帰り	東京に139
FOOD PASSPORT	月額2980円	店内	大阪中心に256
KURADASHI.jp	送料540円、または月額540円	ネット販売	全国550社
Otameshi	送料540円、3000円以上購入で送料無料	ネット販売	累計300社が出品

(注)店舗数は11月22日時点